

ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム

「自動車部会」レポート

2019年8月22日

< 2019年上期の回顧と下期の展望 >

内外の環境変化にどう対応するか

➤ 四輪業界動向

1. 2019年 上期 振り返り
2. " 下期 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランドの対応
5. 総括

➤ 二輪業界動向

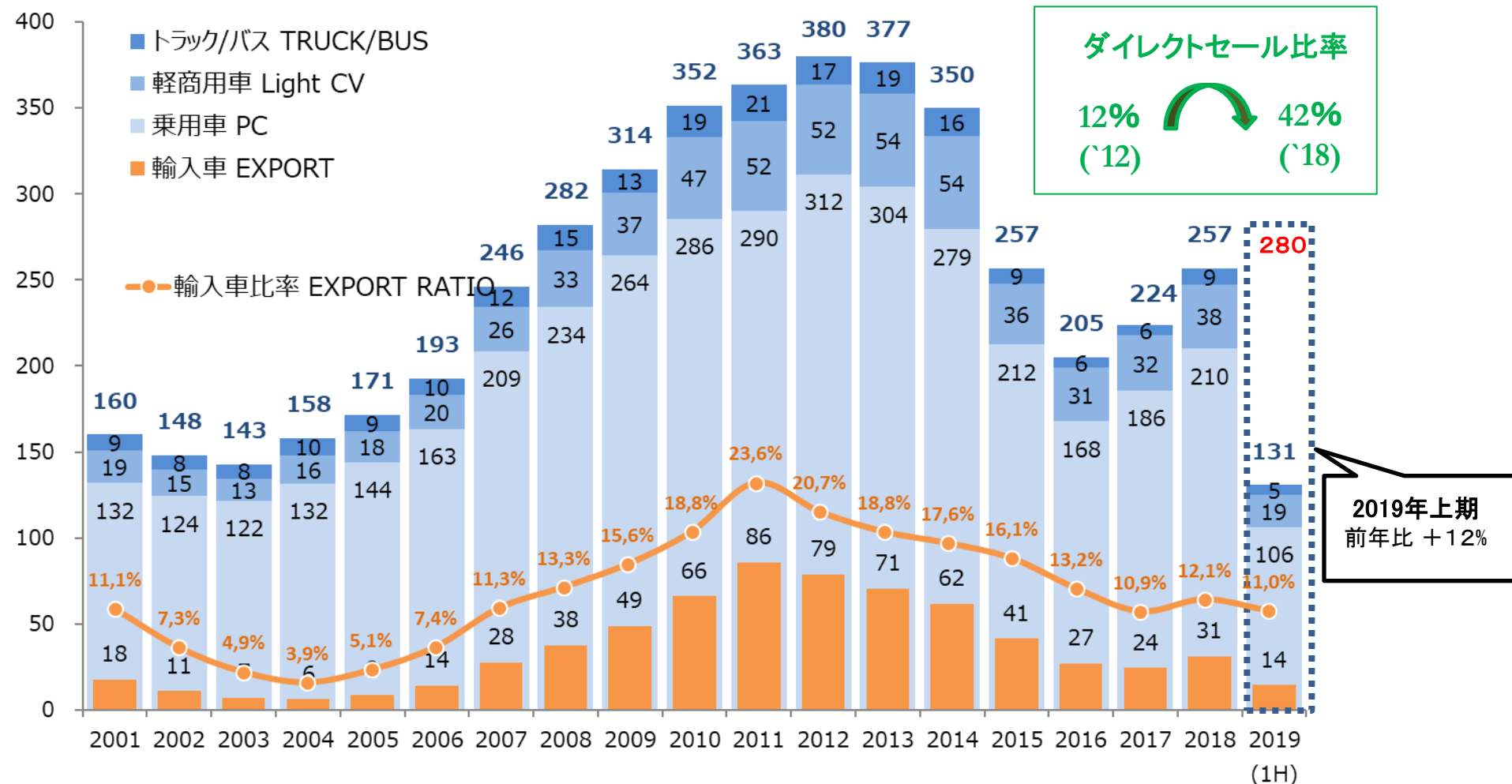
四輪業界動向

1. 2019年上期 振り返り
2. 2019年 下期 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランドの対応
5. 総括

1. 2019年上期 振り返り – 販売台数 推移

(万台)

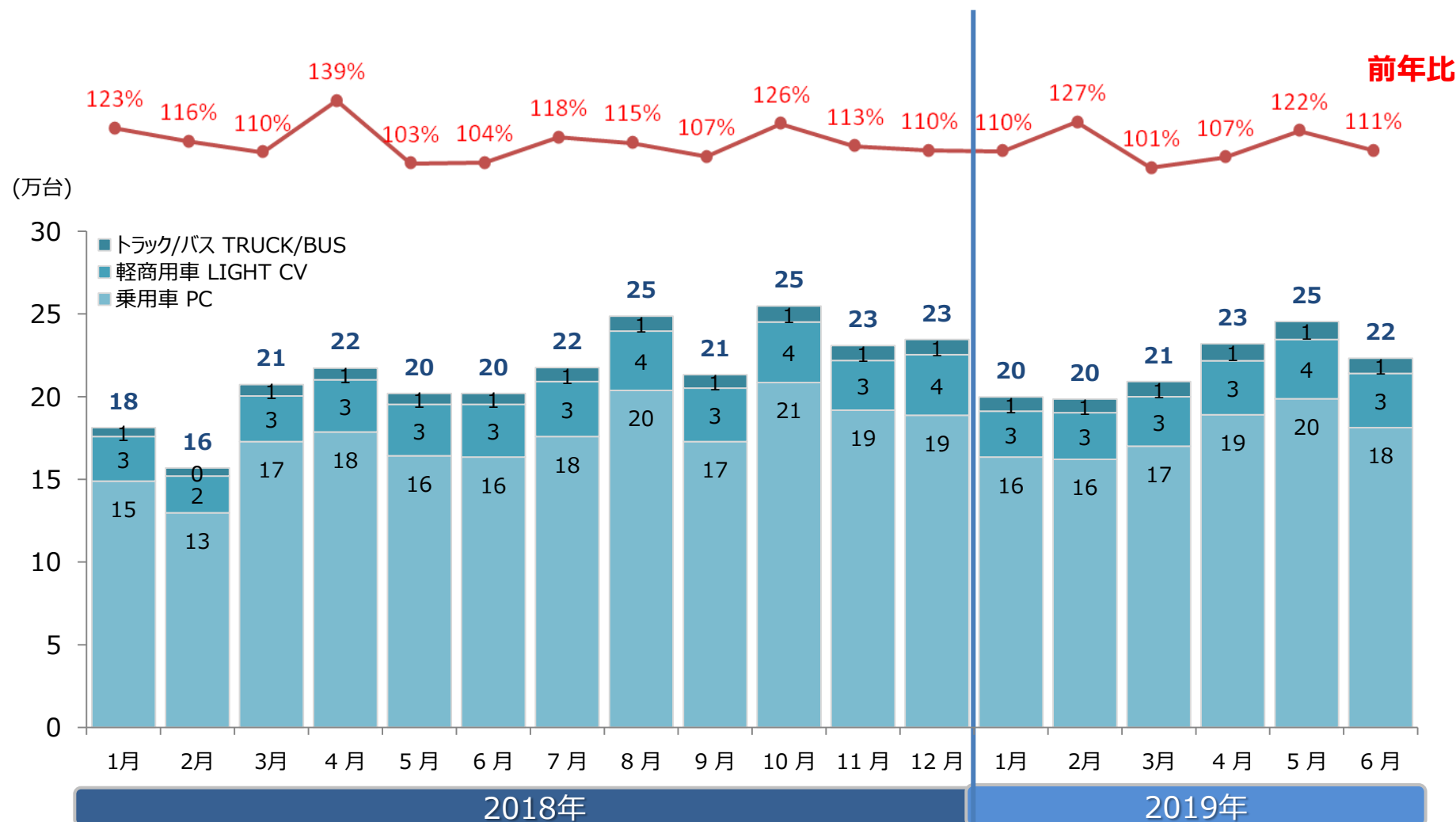
出所：ANFAVEA（ブラジル自動車工業会） 大型バス、トラックを含む四輪合計



- **19年上半期の四輪総市場は131万台（前年同期比12%増）**
- **前年越えの販売を実現、ダイレクト・セールスの伸長もあり**

1. 2019年上期 振り返り 一月別販売台数 推移

出典：ANFAVEA 大型バス、トラックを含む四輪合計



➤ 19年に入り、6ヵ月連続で前年越え

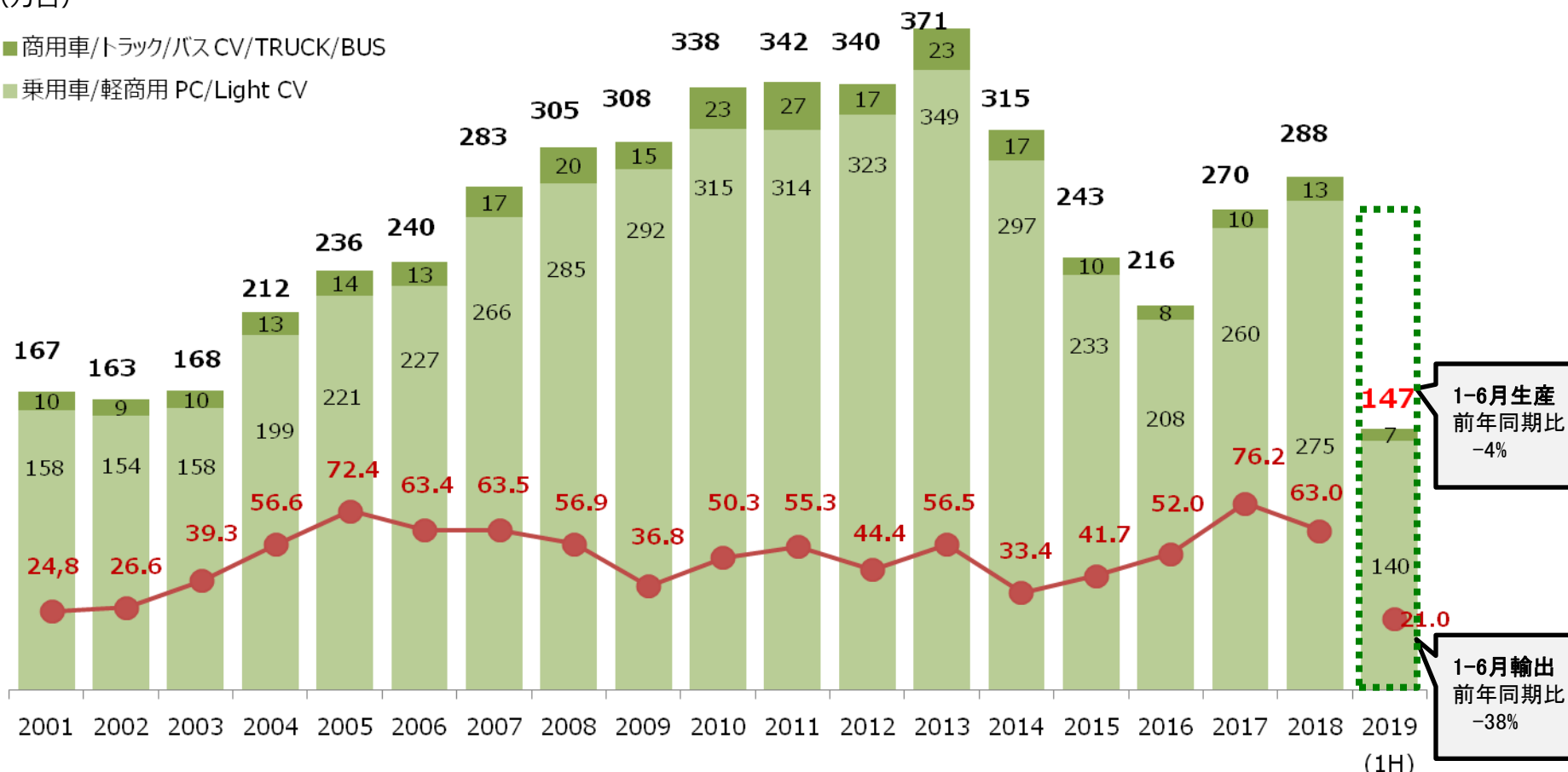
1. 2019年 振り返り – 生産・輸出台数 推移

出所：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

(万台)

■ 商用車/トラック/バス CV/TRUCK/BUS

■ 乗用車/軽商用 PC/Light CV

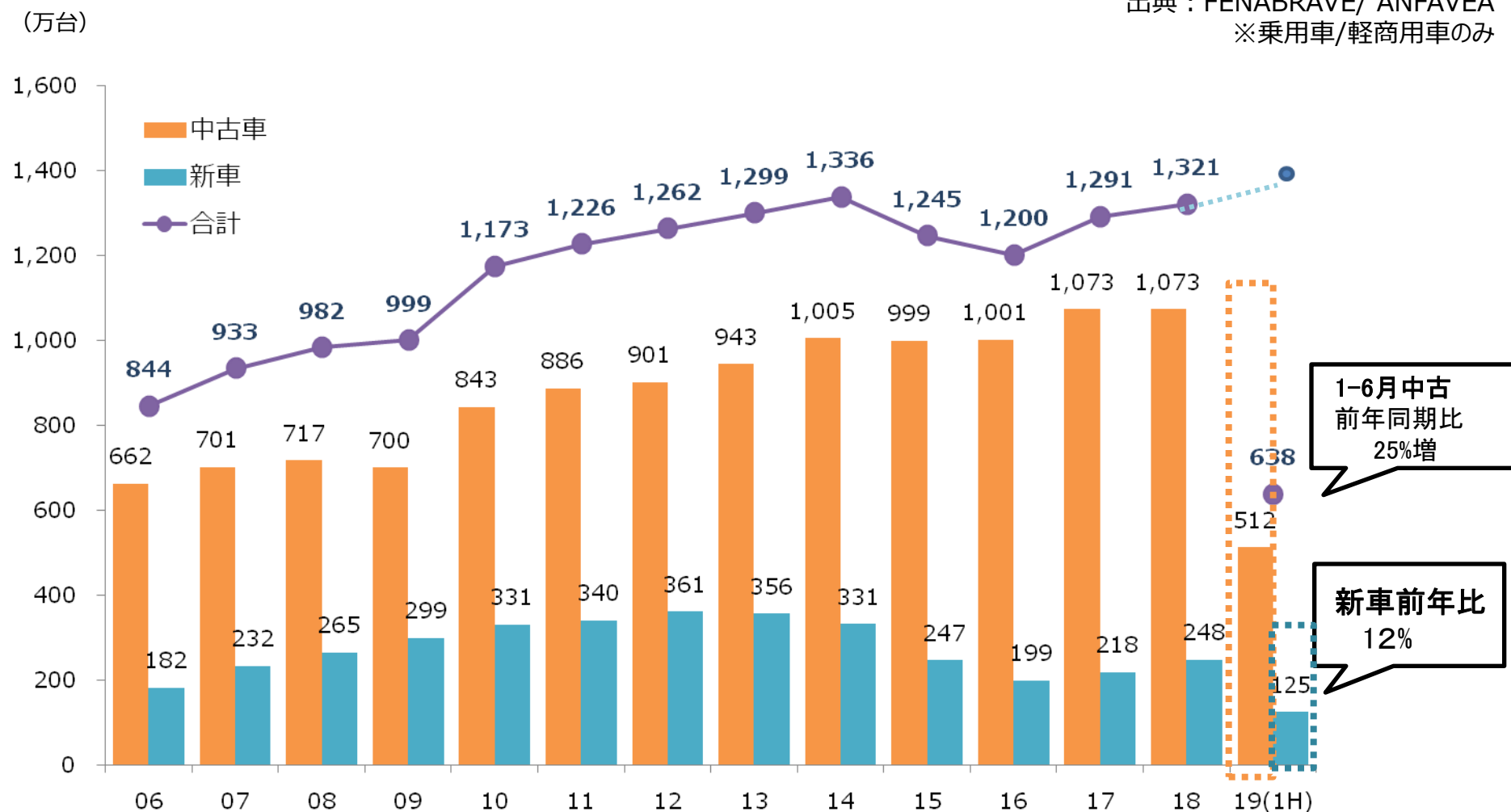


- 19年上半期の総生産台数は174万台(前年比: -4%)
- 輸出は主要輸出国アルゼンチンの市場縮小を受け、前年比-38%

1. 2019年上期 振り返り – 自動車業界(中古・新車)

出典：FENABRAVE/ ANFAVEA

※乗用車/軽商用車のみ



➤ 中古車市場も新車同様、前年超え (+25%)。

四輪業界動向

1. 2019年上期 振り返り
2. 2019年 下期 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランドの対応
5. 総括

2. 2019年下期展望 – 自動車業界

出典：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

◆ ブラジル市場・輸出・生産の2019年予測

単位：万台

		2018年 最終結果	2019年 年初予測		2019年 中間修正予測	
			ANFAVEA (1月発表)	自動車部会	ANFAVEA (6月発表)	自動車部会
国内 市場	トラック・バス 含む総合計	257 前年比：15%	286 前年比：+12%	275 前年比：+7%	286 前年比：+11%	280 前年比：+9%
	トラック・バス 除く合計	246 前年比：+14%	276 前年比：+11%	265 前年比：+7%	275 前年比：+11%	270 前年比：+9%
輸出台数		63 前年比：-18%	59 前年比：-6%	59 前年比：-6%	59 前年比：-6%	59-a
生産台数		288 前年比：+7%	314 前年比：+9%	314 前年比：+9%	314 前年比：+9%	314-a

- 販売はANFAVEA同様、前年越えを見込む（280万台、+9%程度）
- 生産・輸出台数はアルゼンチンの動向もあり、減少する可能性大

四輪業界動向

1. 2019年上期 振り返り
2. 2019年 下期 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランドの対応
5. 総括

3. 長期展望

<重要テーマ>

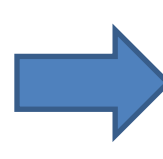
- EPA / FTA
- 排ガス規制 Proconve
- モビリティサービス

本日はこちらをご説明

3. 長期展望 – FTA/EPA

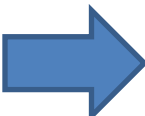
<ブラジルに関連するFTA交渉>

協定	ステータス	内容	GDP・人口
EU・メルコスール	政治合意	・2019年6月に貿易協定締結。 ・各国議会での承認待ち。	20.2兆ドル 8.0億人
カナダ・メルコスール	交渉中	・19年7月に交渉第6回会合実施。 自動車含む。	4.6兆ドル 3.2億人
韓国・メルコスール	交渉中	・19年7月に第3回会合実施。自動車 含む。	4.5兆ドル 3.4億人
米・メルコスール	-	・19年7月に伯大統領・米国商務長 官ロスとの面談で、通商協定協議開始 に合意	22.1兆ドル 5.9億人
日・メルコスール	-	・19年7月日伯経済合同委員会にて、 交渉の早期 開始を提言	7.9兆ドル 4.2億人


 日本とのEPA早期交渉を推進しつつ、EUや韓国等に
 劣後しない内容(自由化スケジュール・原産地規則等)を要望

3. 長期展望 –Procove(自動車大気汚染防止プログラム)

- 昨年11月、環境省直下のCONAMA(連邦環境審議会)にて、**2022年、2025年**以降に適用される**排出ガス規制の骨子**が採択
- 大気中へ排出されるガソリンの蒸気を車体内で回収し、燃料へ再利用する装置(**ORVR**)や、燃料漏れの自己診断装置(**OBD**)等の義務付けが定義

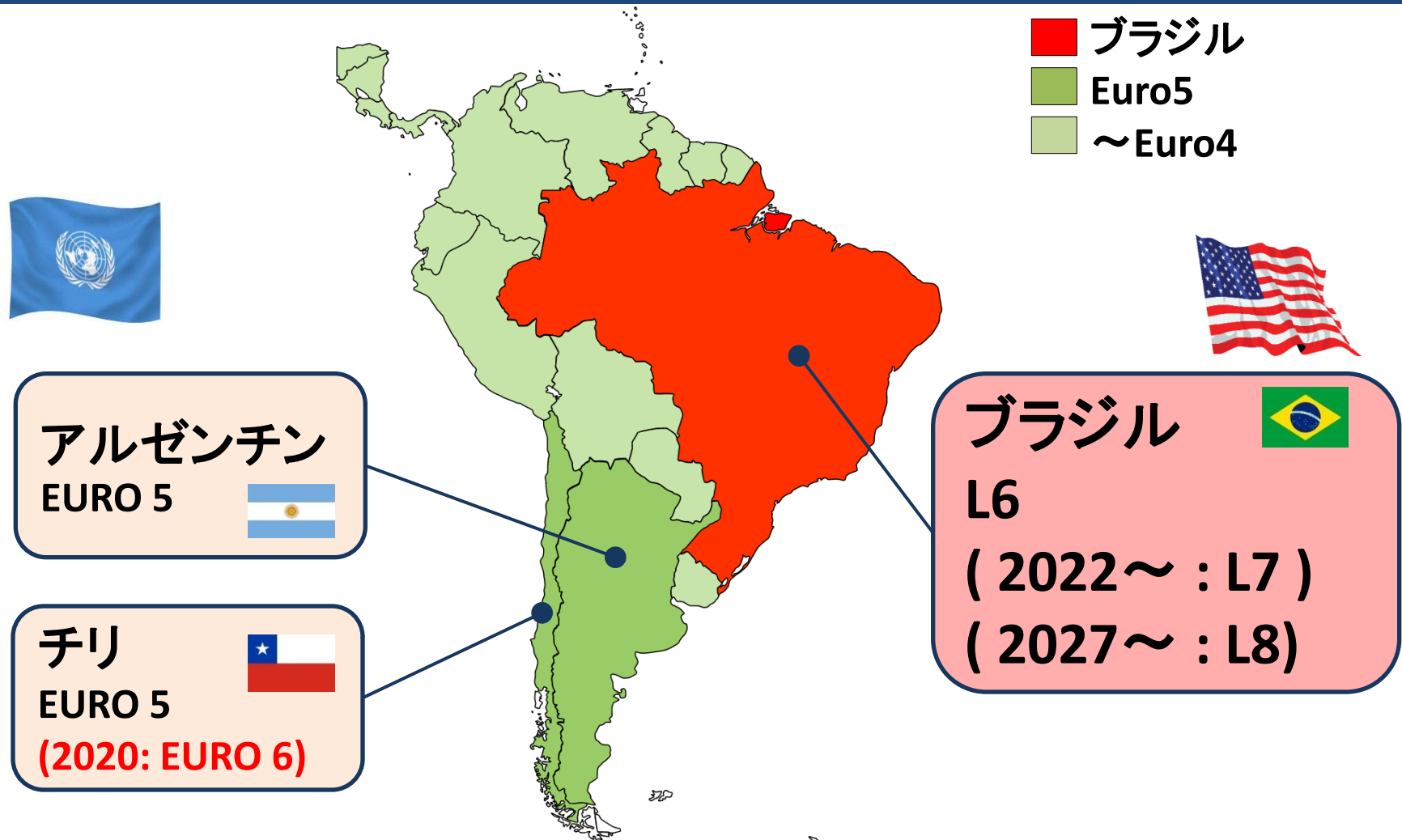
 規制導入のタイミングが早いため適応が難しく、販売できない車種が出る可能性有

<排ガス規制スケジュール(仮)>

	19	20	21	22	23	24	25
規制	L6			L7			L8
OBD		*20年上半期決定		全車規制(TBD)			
ORVR					販売20%	販売60%	販売100%
RDE				モニタリング			全車規制

*OBD: 車載式故障診断装置, ORVR:車搭載型燃料供給時蒸気回収装置, RDE:実走行条件下排出ガス規制

3. 長期展望 –Procove(自動車大気汚染防止プログラム)

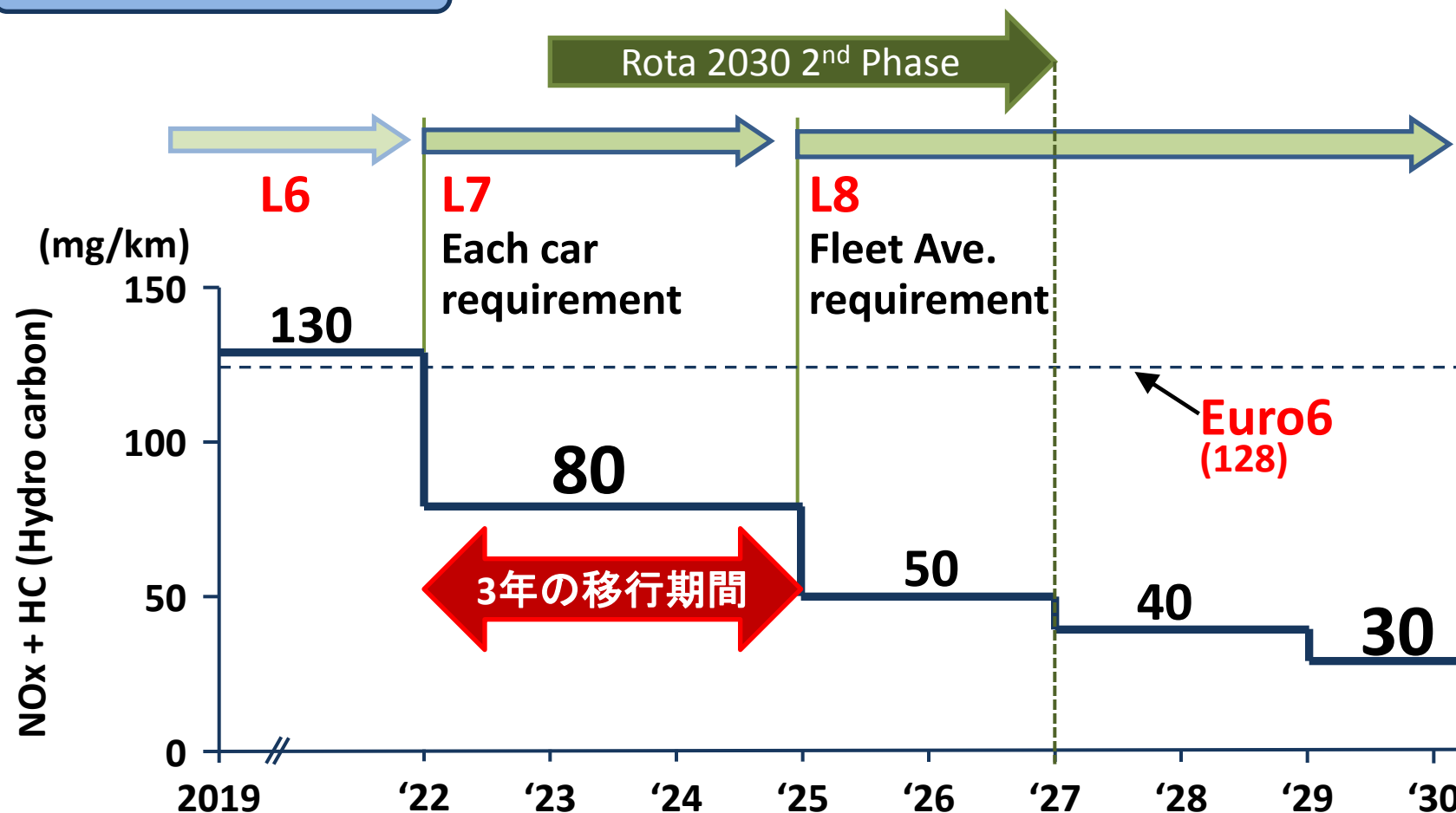


- ▶ ブラジルは中南米の中で、ユニークな米国基準の規制を導入予定。
(2022: L 7 2025: L 8)

3. 長期展望 –Procove(自動車大気汚染防止プログラム)

乗用車の例

Source: Own preparation



➤ L 7と L 8は、現在のEuro6規制よりも更に厳しくなり、Rota2030第2フェーズのCAFÉ規制スケジュールと差異が発生

3. 長期展望 –モビリティサービス

グローバル 環境の変化

Conconnected
(コネクティッド)

Autonomous
(自動運転)

Shared
(シェアリング)

Electric
(電動化)



3. 長期展望 –モビリティサービス



UBER



四輪業界動向

1. 2019年上期 振り返り
2. 2019年 下期 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランドの対応
5. 総括

4. 日系ブランドの対応

【日-メルコスールEPA】

- ・ブラジルにおける日系メークの競争力強化のため、税制改革などの構造改革とともにEPA早期交渉開始の必要性を政府に働きかけ

【Proconve(排ガス規制)】

- ・規制導入のタイミング及び内容を現実に即したものにすべく、ブラジル政府当局への理解活動が必要。

【モビリティサービス】

- ・今後、拡大するコネクティッド、シェアリング、電動化等の領域に、業界を越えた積極的な取り組みを展開していくことが必要。
- ・フレックス・ハイブリッド車や電気自動車の導入による電動化への対応が必要。

4. 日系ブランドの対応

(トヨタ)
フレックス・ハイブリッドのカローラの導入



(日産)
電気自動車、リーフの導入



 **TOYOTA**
mobility services



四輪業界動向

1. 2019年上期 振り返り
2. 2019年 下期 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランドの対応
5. 総括

5. 総括 ー 本日のまとめ

2019年上期実績

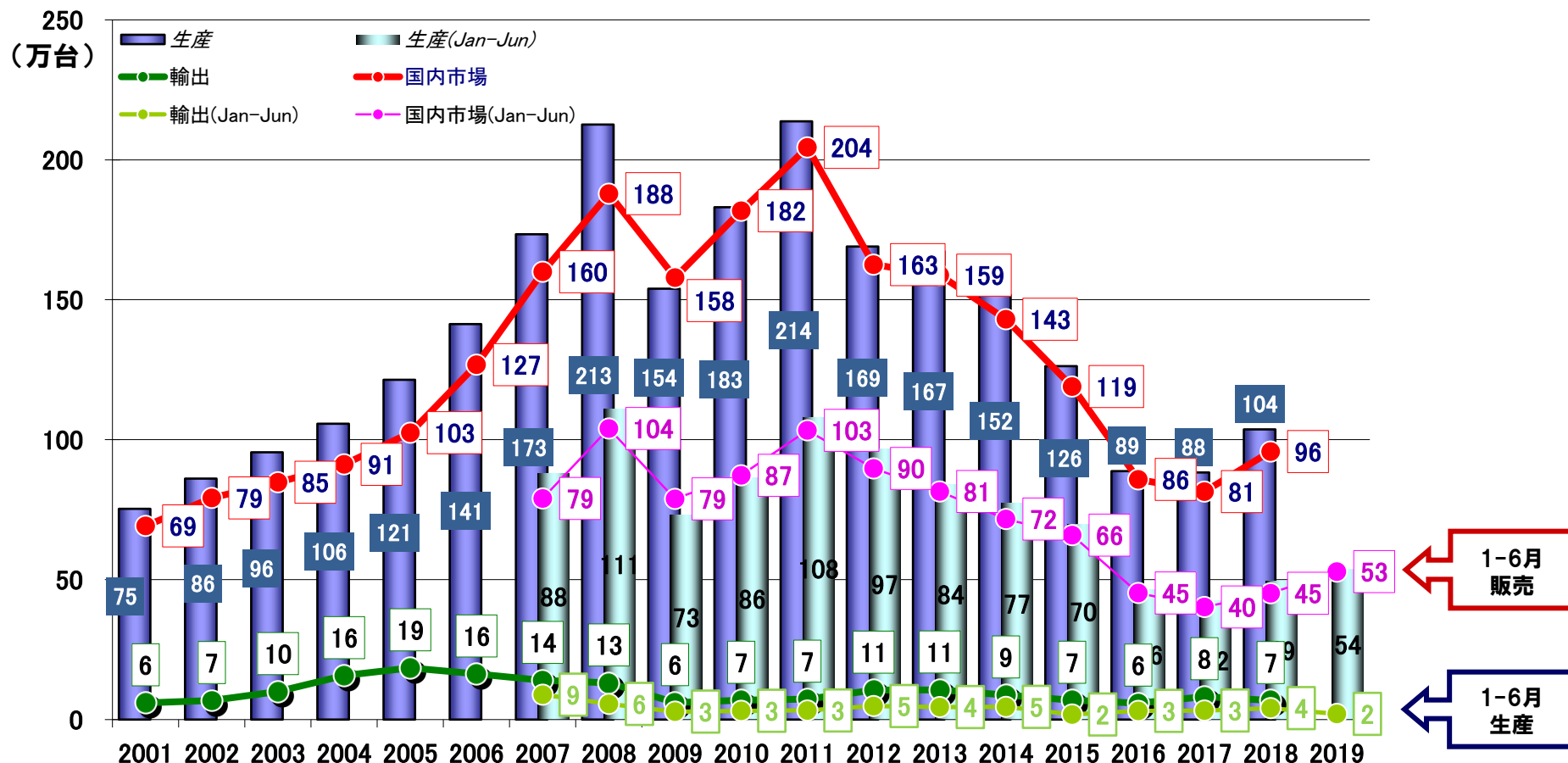
- 19年上期の市場は前年同期比12%増と、回復傾向。
通期でも前年比約+9%の見通し。
- 生産・輸出はアルゼンチンの不調もあり、減少傾向。今後の動向を注視。
- EUとのFTA政治的合意や韓国とのEPA交渉が先行。自動車や自動車部品も含まれる。

状況を踏まえた対応

- 引き続き長期的視点に立ち、環境変化に負けない事業体質強化を推進。
→ **為替対応**を踏まえた**部品現調化**や**生産性向上**などにより、コスト低減、及び輸出促進を図る
- 排ガス規制は、規制導入のタイミングと内容が**現実**に**即したもの**にすべく、引き続きブラジル政府当局への**理解活動が必要**。
- 今後、拡大するコネクティッド、シェアリング、電動化等の領域に、業界を越えた積極的な取り組みを展開していく必要。

二輪業界動向

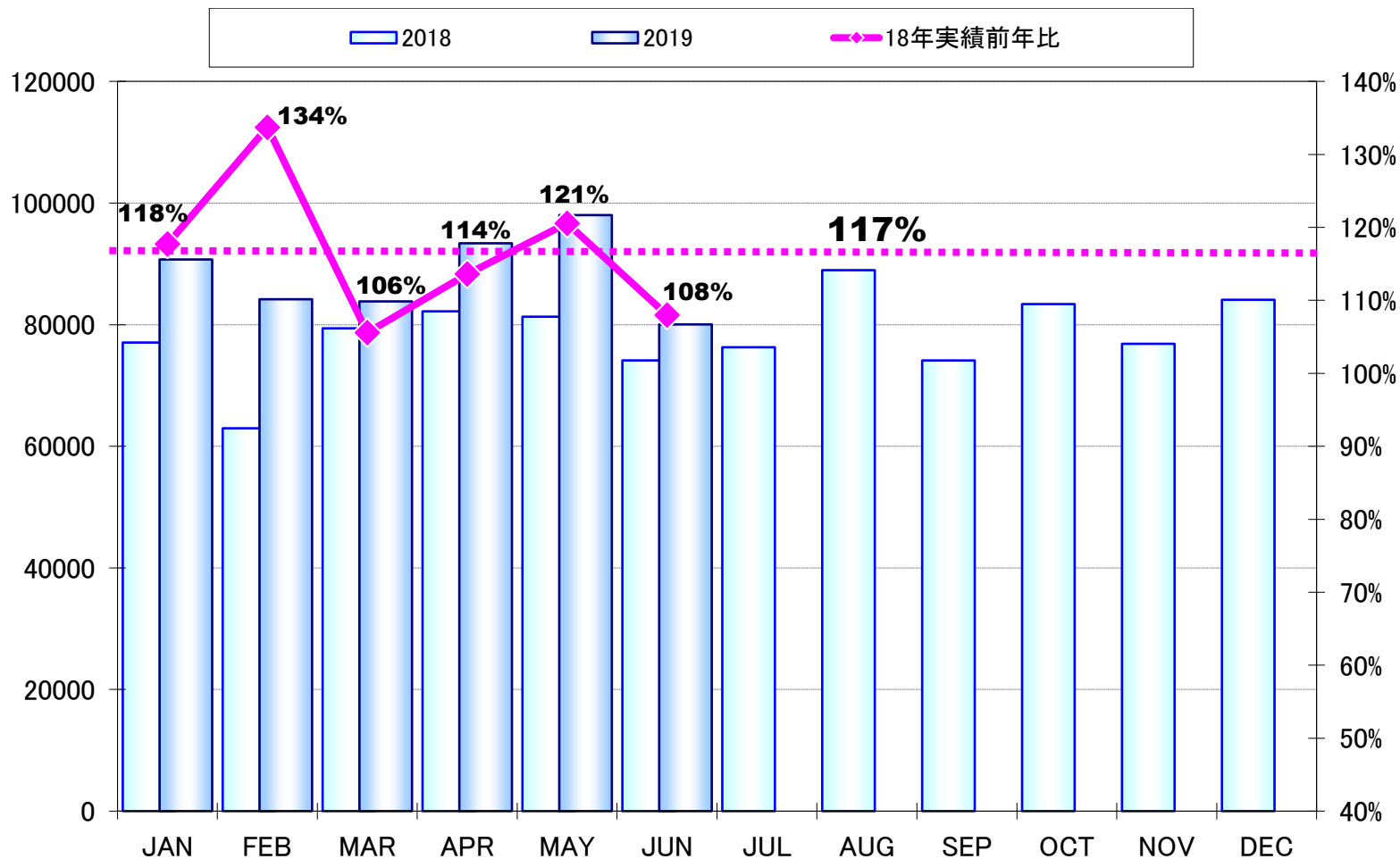
出典: Abraciclo



2019年上期実績

卸	53万台 (前年比117%)	クレジット販売増加が寄与
生産	54万台 (前年比109%)	国内販売増に伴い生産も前年を上回る
輸出	2万台 (前年比50%)	アルゼンチンの経済不況により前年比半減

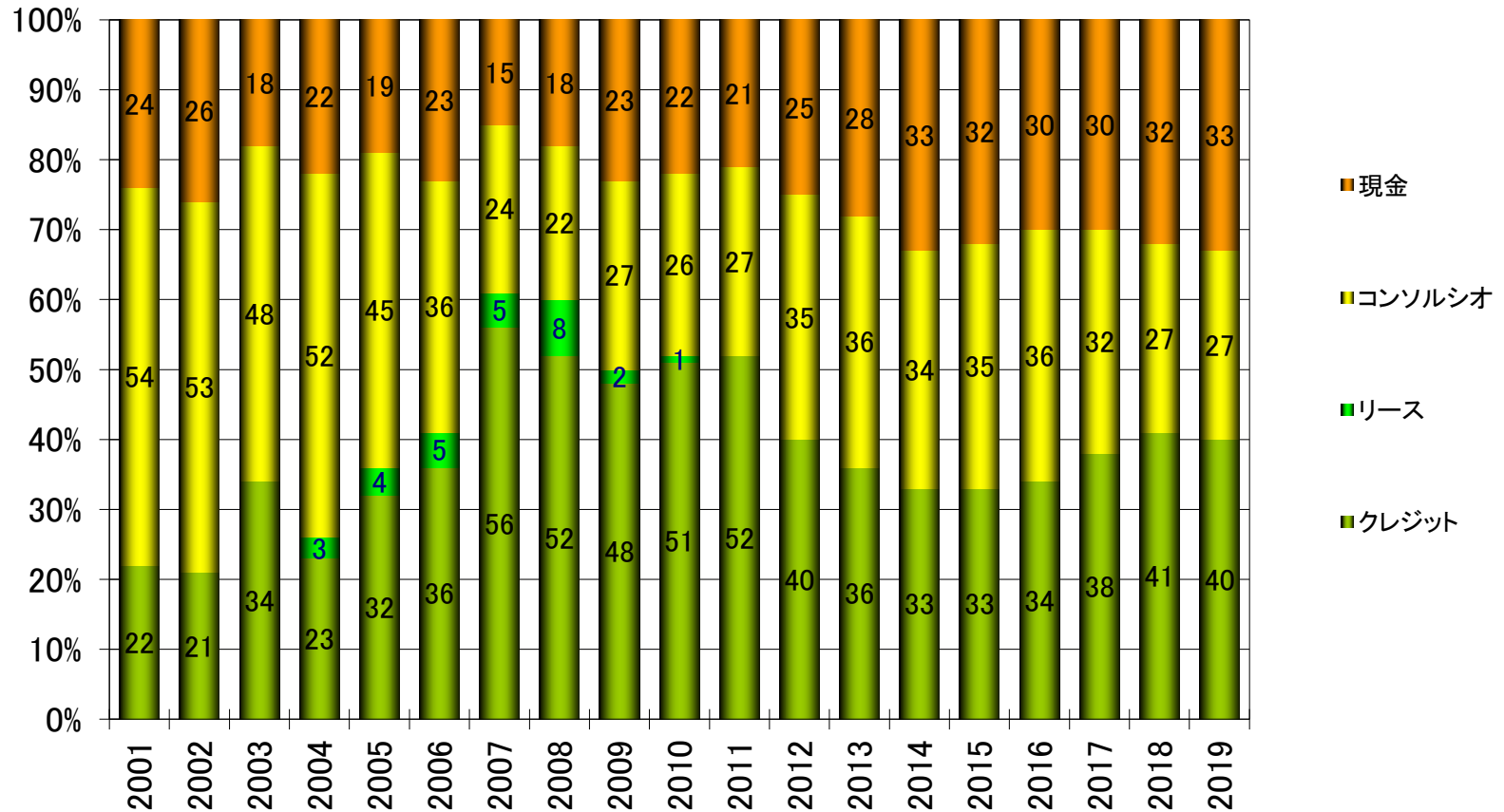
二輪車 月別販売推移 (2018年vs2019年)



**2019年上期は、クレジット販売の増加が寄与し前年比117%。
下期は年金改革など政治の動きが鍵を握るものの、引き続き堅調に推移すると予測。**

二輪車 支払形態別 販売比率

※出典: ANEF(自動車メーカー系金融会社協会)



*2019年は3月までの実績

クレジットは歴史的な低金利により堅調